

市商工業振興審議会（会長 高橋秀生市商工会長）は9月17日、市から諮問を受けて審議した結果について、市長に答申書を提出しました。答申書には、

新型コロナウイルス感染症による各業種の経済被害状況や支援策などがまとめられました。その中で、国の各種支援制度は全

要したり、専門性が強く利用をためらう事業者もいることに触れ、中小事業者等への情報と相談体制の拡充に合わせ、市独自の事業や雇用と事業活動を維持

できる施策を要望しました。また、年末年始に向けた消費を喚起する施策を継続するとともに、100億円規模の融資あ

■新型コロナウイルス感染症の支援策等を答申

市は10月8日、長野県行政書士会松本支部との「災害時における被災者支援に関する協定」の締結式を市役所で行いました。この協定は、被災後の復旧・復興段階で必要となる、申

請書類等に関する相談業務支援を無料で実施していただくものです。これにより、各種手続きが円滑化され、被災した市民の生活を取り戻す被災者応援体制の構築が図られます。

宮澤市長は「被災後のスピード感を持った対応に繋がりが、市民に安心していただくために大変心強い」と述べました。



協定書に署名する
松島支部長（左）と宮澤市長（右）

■長野県行政書士会と被災者支援に関する協定を締結

市は7月31日、松川村との「災害時等相互応援協定」の締結式を市役所で行いました。この協定は、どちらかの自治体が災害により対応が困難になった場合

に、もう一方が避難者の受け入れや支援物資の提供など、要請に基づいて支援を行うものです。市は2月に池田町と同様の協定を締結しており、より広域的

■等相互応援協定書



協定を交わし握手する
平林村長（左）と宮澤市長（右）

な連携を図るため、松川村に打診し、承諾をいただきました。宮澤市長は「互いに補い合いながら住民を守っていききたい」と述べました。

市政トピックス

認知症を正しく知るきっかけに

9/16 市役所をオレンジ色にライトアップ

市では、9月の世界アルツハイマー月間に合わせ、「安曇野市オレンジキャンペーン」と題し、認知症への理解を深めていただくため、パネル展示や図書館に特設コーナーを設置、16日にはシンボルカラーのオレンジ色に市役所をライトアップしました。2025年には65歳以上の5人に1人程度が認知症になると予想されており、症状や接し方などの正しい理解が求められています。



県内出身の若手音楽家が名演

9/26 あづみの新進音楽家コンサート

安曇野市出身の3人(写真右下:草野美音さん、写真左下(右):竹内一恵さん、(左):三原知夏さん)を含む県内出身の若手音楽家によるコンサートが9月26日、穂高交流学习センター「みらい」で開かれました。例年に比べ定員を減らし、会場内の換気を定期的に行うなど感染症予防策を講じながらの開催となりましたが、親しみやすい選曲と迫力ある演奏に、観客からは大きな拍手が送られていました。

安曇野ならではの食を楽しむ

安曇野林檎ナポリタン、安曇野やさいスイーツフェア

ご当地グルメとして定着した「安曇野林檎ナポリタン」と「安曇野やさいスイーツ」。本年も各店で提供が始まり、安曇野ならではの食を楽しむことができます。

「安曇野林檎ナポリタン」の今季発表会が9月25日に市役所で行われました。8シーズン目を迎える本年は、参加店舗を1つ増やし、市内外14の店舗で提供されます。リンゴを具材として使用したり、ジャムをソースに混ぜるなど、さまざまな工夫を凝らしたナポリタンを各店で味わうことができます。

また、「安曇野産プロッコリー & 夏秋イチゴ」をテーマにしたスイーツを販売する「安曇野やさいスイーツフェア」は、11月8日まで市内15の参加店舗で開催されています。10月1日・2日には市役所1階で各店舗合同の特別販売が行われ、趣向を凝らしたスイーツを一度に味わえるチャンスに、多くの来庁者が行列を作りました。2日間で用意された約800食のスイーツが完売する盛況ぶりでした。

参加店舗、提供機関等詳細は、市観光交流促進課（☎71・2053 ☎72・1340）へ問い合わせいただくか、市HPをご覧ください。

